

(報告)

口丹地域における府立高校の在り方について

口丹地域における府立高校の在り方について、下記のとおり報告します。

平成30年3月6日

教育長 橋本 幸三

記

今後、当面の間、少子化傾向が緩やかとなる口丹地域においては、生徒一人一人の希望進路の実現に向けた、より魅力ある高校教育を推進するため、地元地域からの支援や連携事業を充実させるなどにより、引き続き、各府立高校の魅力化をより進め、学校規模の維持に向けた取組を進めていく。

なお、口丹地域外の高校に進学を希望する生徒の状況や、平成38年度以降生じる見込みである中学3年生数の大幅な減少を踏まえて、各高校の在り方については必要に応じて改めて検討を行う。

1 各府立高校の魅力化

(1) 各府立高校については、改めて中学生や地域のニーズを把握し、次期学習指導要領への対応も見据えて、必要に応じて学科改編等を行いながら、魅力化を図る。

(2) 個別検討を行った北桑田高校および須知高校については、検討会議での意見を参考にしながら、地元自治体をはじめとする関係機関と連携した魅力化に取り組む。

なお、北桑田高校美山分校については、現在果たしている役割は口丹地域において必要であり、通学条件や施設設備の状況を考慮しながら在り方を検討する。

2 選抜制度の工夫

選抜制度について、現行の学区の在り方や、府外を含め他地域からの入学者の受け入れに関する検討を行う。

3 今後のスケジュール

上記について、平成30年度に具体的な検討・調整等を進める。

【参考】

1 検討に当たっての課題認識

今後、中長期的にみて口丹地域においては少子化傾向が顕著であり、かつ、各高校の所在する地域ごとに少子化等による生徒募集への影響に大きな差がある状況である。併せて、当該地域においては、中学生の進路選択の多様化により、他の地域にある高校を選択する生徒が増えているという課題もある。

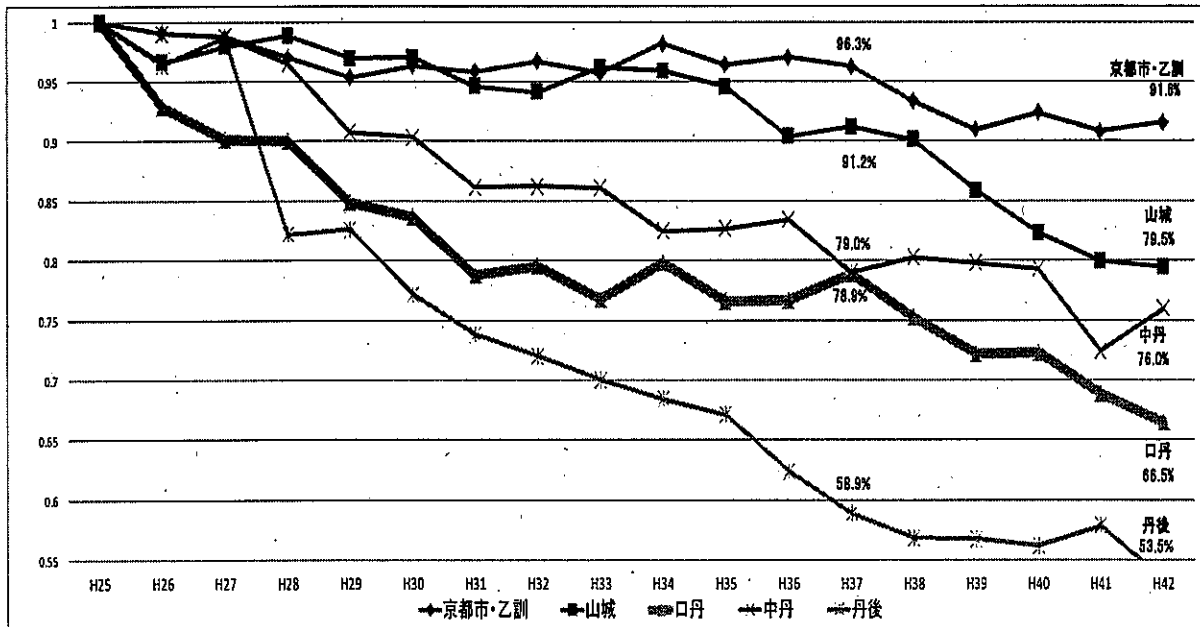
こうした中で、より魅力ある高校教育を推進する観点から、口丹地域の府立高校の今後の在り方や活性化策について検討してきたところである。

2 検討の視点

- ・地域の子どもたちの教育環境
- ・地域における高校の役割

3 京都府内の中学校3年生数増減率の推計（平成25年度基準）

※平成25～28年度＝各年5月1日「学校基本調査」によるデータ
 ※平成29年度＝平成29年5月1日「学校基本調査」、平成30～37年度＝平成29年5月1日「学校基本調査」による推計データ（過去3年間の学年進捗率を元に推計）
 ※平成38～42年度＝各年出生数（暦年）からの推計データ（各年出生数×現小1～6年生の（中3生時推計数/出生数）の平均率）



口丹地域の生徒数

【単位:人】								
H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33
(H26選抜)	(H27選抜)	(H28選抜)	(H29選抜)	(H30選抜)	(H31選抜)	(H32選抜)	(H33選抜)	(H34選抜)
1,483	1,378	1,337	1,335	1,259	1,240	1,168	1,180	1,139
				<現中3生>		<現小6生>		
H34	H35	H36	H37	H38	H39	H40	H41	H42
(H35選抜)	(H36選抜)	(H37選抜)	(H38選抜)	(H39選抜)	(H40選抜)	(H41選抜)	(H42選抜)	(H43選抜)
1,184	1,135	1,137	1,170	1,116	1,070	1,072	1,021	962
			<現小1生>		<H27年生>			

※旧京北町については、「口丹」に含む。
 ※H28年度の学校基本調査から夜間学級の生徒数が含まれなくなったため、H26年度選抜にさかのぼって洛友中学校（夜間中）の3年生数を除く。

4 口丹地域の公立中学校3年生数と府立高校（全日制）の学級規模の推計

■口丹地域普通科の学区別公立中学校3年生の推計

※平成29年度＝5月1日基本数調査によるデータ

※平成30年～37年＝平成29年5月1日基本数調査による推計データ

学校名	普通科の学区	平成29年	平成30年	平成31年	平成32年	平成33年	平成34年	平成35年	平成36年	平成37年
		30年度選抜	31年度選抜	32年度選抜	33年度選抜	34年度選抜	35年度選抜	36年度選抜	37年度選抜	38年度選抜
北桑田	京都市右京区 (周山中学校区)	37	34	43	37	37	30	31	24	24
	南丹市 (美山中学校区)	30	22	11	31	21	16	23	17	24
亀岡	亀岡市	826	808	762	763	742	778	771	758	798
園部	南丹市 (美山中学校区除く)	260	267	253	252	250	274	228	248	248
須知	京丹波町	106	109	99	97	89	86	82	90	76
口丹地域計		1,259	1,240	1,168	1,180	1,139	1,184	1,135	1,137	1,170

■口丹地域の府立高校（全日制）の学級規模推計

学校名	年度 選抜年度	平成29年 30年度選抜		平成37年 38年度選抜	
		3cl		2cl	
北桑田	普通科・森林リサーチ科	3cl	90	2cl	70
亀岡	普通科	7cl	280	7cl	270
	普通科(美術・工芸専攻) 数理科学科				
南丹	総合学科	5cl	180	5cl	170
園部	普通科・京都国際科	4cl	130	4cl	130
	中高一貫(普通科)	1cl	40	1cl	40
須知	普通科・食品科学科	3cl	100	2cl	70
募集定員 小計(a)			820		750
農芸	農業学科群	3cl	110	3cl	110
	うち口丹地域(b)	[推計]	54	[推計]	54
計(c=a+b)			874		804
当該地域の公立中3生数(d)			1,259		1,170
生徒受入率(c/d)			69.4%		68.7%

【H38年度選抜の学級規模】※機械的な計算による推計であり実際の募集人数とは異なる。

平成30年度入学者選抜の公立高校の公立中3生数に対する生徒受入率を基本とし、次のとおり仮定して推計

- ①高校の募集定員は、基本的に普通科学区内の中3生の人数比率(H37/H29年度)を平成30年度選抜の各校募集定員(普通科と専門学科の計)に乗じて積算(②以下を除く。)
- ②南丹高校は、口丹地域全体の中3生人数比率(H37/H29年度)を平成30年度選抜の募集定員に乗じて積算
- ③農芸高校は府全域募集のため口丹地域の過去の進学実績の平均値を横置き
- ④園部高校附属中学校内部進学分は横置き

5 口丹地域の高校毎の通学区域等

[全日制課程]

学校名	学科	通学区域	
		通学圏等	学区
北桑田	普通科	口丹通学圏	京都市(周山中学校の通学区域に限る。) 南丹市(美山中学校の通学区域に限る。)
	森林リサーチ科	府内全域	—
亀岡	普通科	口丹通学圏	亀岡市
	普通科(美術・工芸専攻)	京都市・乙訓通学圏 口丹通学圏 ※調整区域:山城通学圏、中丹通学圏、丹後通学圏	—
	数理科学科	府内全域	—
南丹	総合学科	亀岡市の区域 ※調整区域:京都市・乙訓通学圏、山城通学圏、口丹通学圏(亀岡市の区域を除く)	—
園部	普通科	口丹通学圏	南丹市(他の学区に属する地域を除く。)
	普通科(中高一貫)	—	—
	京都国際科	府内全域	—
農芸	農産バイオ科 環境緑地科	府内全域	—
須知	普通科	口丹通学圏	京丹波町
	食品科学科	府内全域	—

[定時制課程] (通学区域は府内全域)

学校名 (分校名)	学科
北桑田 (美山)	農業科 家政科

★口丹通学圏の高校(普通科)にあつては、当該高校の学区を除く通学区域から入学できるのは、普通科募集定員の20%以内とする。なお、前期選抜については、中丹・丹後通学圏からも志願できる。
★上記とは別に北桑田高校普通科は前期選抜において募集定員の10%を合格の上限として京都市・乙訓通学圏からも志願できる(平成30年度選抜から)。

(参考)口丹地域から志願可能な管外の高校・学科[抜粋]

学科	学校名	学科	学校名	学科	学校名
農業※	桂	情報	京都すばる	その他専門	南陽
	綾部(東)	福祉	京都八幡(南)		福知山
	峰山(弥栄)	体育	乙訓		西舞鶴
工業	田辺	音楽	京都堀川音楽		西京
	工業	美術	銅駝美術工芸		京都工学院
	峰山	その他専門	山城		堀川
	京都工学院		鳥羽		紫野
商業	京都すばる		嵯峨野		塔南
	大江		桃山		総合
水産	海洋	城南菱創			
家庭	峰山(弥栄)	京都八幡(南)			

このほか、普通科(スポーツ総合専攻、総合選択制、単位制)で志願できる高校が複数有り
※農業科のうち桂及び綾部(東)は対象外区域有り

6 口丹地域の府立高校入学者の状況

■直近3カ年の口丹地域の各高校の学科毎の入学者状況は以下のとおりである。
全体として、募集定員の充足が課題となっている。

課程	校名	学科名	定員 充足率 (3年 平均)	H29年度入学				H28年度入学				H27年度入学				
				定員	入学 者数	欠員 数	充足 率	定員	入学 者数	欠員 数	充足 率	定員	入学 者数	欠員 数	充足 率	
全 日 制	北桑田	普通	60.0%	60	36	-24	60%	60	37	-23	62%	80	47	-33	59%	
		森林リサーチ	75.6%	30	20	-10	67%	30	24	-6	80%	30	24	-6	80%	
	亀岡	普通	99.6%	240	240		100%	240	240		100%	240	237	-3	99%	
		普通(美術・工芸)	75.0%	40	33	-7	83%	40	29	-11	73%	40	28	-12	70%	
		数理科学	72.5%	40	20	-20	50%	40	34	-6	85%	40	33	-7	83%	
	南丹	総合学科	100.0%	180	180		100%	180	180		100%	180	180		100%	
	園部	普通	95.7%	100	96	-4	96%	100	95	-5	95%	100	96	-4	96%	
		京都国際	82.2%	30	20	-10	67%	30	24	-6	80%	30	30		100%	
	農芸	農業学科群	94.5%	110	97	-13	88%	110	105	-5	95%	110	110		100%	
	須知	普通	66.7%	60	37	-23	62%	60	43	-17	72%	60	40	-20	67%	
		食品科学	70.0%	40	22	-18	55%	40	28	-12	70%	40	34	-6	85%	
	定 時 制	北桑田 (美山)	農業・家政	22.5%	40	8	-32	20%	40	8	-32	20%	40	11	-29	28%
	全体(全日制)			88.9%	930	801	-129	86%	930	839	-91	90%	950	859	-91	90%

7 口丹地域の府立高校の在り方検討状況

平成28年3月

「口丹地域における府立高校の在り方懇話会」(第1回)開催

- ・管内の高校の現状等について共有しつつ魅力化に向けた意見交換等
- ・今後、特に生徒数減少の著しい地域、高校について個別検討を実施

平成28年12月～平成29年10月

「北桑田高校・須知高校の在り方検討会議」(各4回)開催

- ・地元行政・教育関係者、地域関係者、保護者で構成
- ・それぞれの高校の在り方や活性化策について地元から意見を伺う場として設定

	北桑田高校の在り方検討会議	須知高校の在り方検討会議
H28年12月 (第1回)	【報告】 高校の現状と課題等について 【意見】 中学校、地元から高校に期待すること等について	
H29年3月 (第2回)	【報告】 学校の小規模化が教育に与える影響や入学者選抜の状況等 【意見】 高校の方向性を検討する視点(子どもたちの教育環境・地域における高校の役割)について	
7月 (第3回)	【報告】 校長からの学校の活性化私案 【意見】 活性化私案の内容や地元支援等について	
10月 (第4回)	【報告】 美山分校の現状について 【意見】 分校の役割や地域との関わり等	【報告】 普通科の充実等について 【意見】 充実方策や期待する教育 △調理に関し北海道三笠高校の視察概要を報告(京丹波町より)

平成30年1月

「口丹地域における府立高校の在り方懇話会」(第2回)開催